EXILIM【エクシリム】

J Z

液晶デジタルカメラ

# EX-Z1080

# 取扱説明書
# （保証書付き）

すぐに使いたいかたは
ここをご覧ください
8ページ



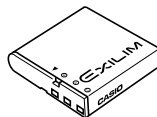
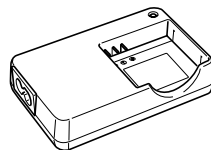
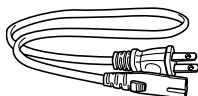
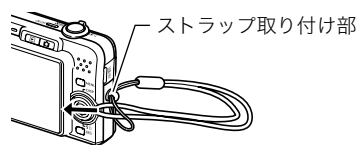
## ごあいさつ

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト（http://dc.casio.jp/）または カシオホームページ（http://casio.jp/）でご覧になることができます。

K848FCM1PKC

# そろっていますか

箱を開けたら、以下のものがすべてそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

# 目次

## 静止画を撮影する 38



## 動画を撮影する 59



## 撮りたいシーンを選んで撮影する（ベストショット） 63

## よりよい撮影のための設定 75



## 静止画や動画を再生する 92

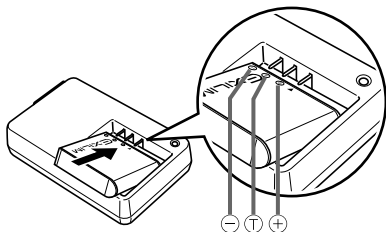
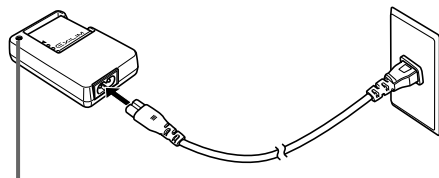
# すぐに使いたいかたはここをご覧ください

## 箱を開けたら

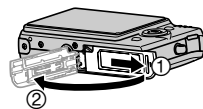
## 電池を充電する

（詳しくは→22ページ）

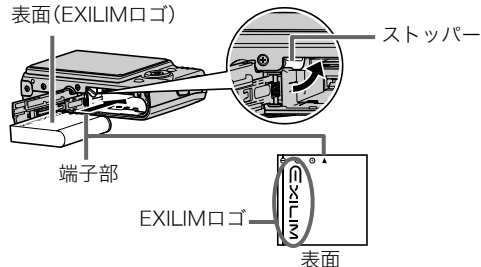
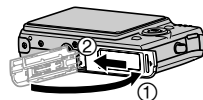
### ■ 充電器を使って充電する

**1.** 電池を充電器にセットする

**2.** 充電器を家庭用コンセントに接続する

【CHARGE】ランプ
赤点灯：充電中
消灯　：充電完了

- 約2時間30分でフル充電されます。

### ■ 電池を入れる

**1.** 電池カバーを開ける

軽く押しながら矢印の方向にスライドしてカバーを開ける

**2.** 電池を入れる

**3.** 電池カバーを閉める

最初に電源を入れたら

# メッセージの言語を選び、日付と時刻を合わせる

（詳しくは→125、127ページ）

お買い上げ後、初めて電源を入れたときに必要な操作です。

- 日本で使う場合の操作例です。
- 表示言語や日時を間違って設定した場合、設定し直すことができます（125、127ページ）。

**1.** 【ON/OFF】を押して電源を入れる

**2.** 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して“日本語”を選び、【SET】を押す

**3.** 【▲】【▼】【◀】【▶】を押して日本のエリアを選び、【SET】を押す

**4.** 【▲】【▼】を押して“Tokyo”を選び、【SET】を押す

**5.** 【▲】【▼】を押して“切”を選び、【SET】を押す

これで、サマータイムにはなりません。

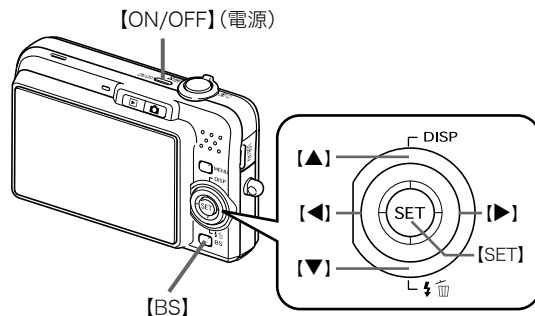
**6.** 【▲】【▼】を押して日付の表示スタイルを選び、【SET】を押す

例）2007年12月19日

“年／月／日” → “07/12/19”と表示
“日／月／年” → “19/12/07”と表示
“月／日／年” → “12/19/07”と表示

**7.** 日付と時刻を合わせる

【◀】【▶】で年、月、日、時、分を選び、【▲】【▼】で数字を合わせます。
12時間／24時間表示を切り替えるには、【BS】を押します。

**8.** 【SET】を押す

【ON/OFF】を押していったん電源を切り、次に進んでください。

# メモリーカードを準備する

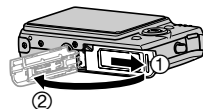
## ■ メモリーカードを入れる

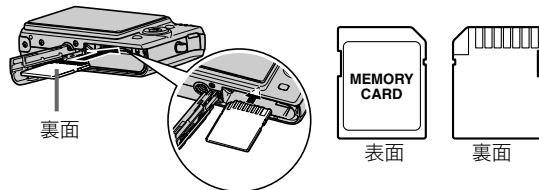
本機で撮影した画像はメモリーに保存されます。

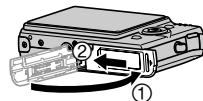
**参考**

- 高画質の静止画、大きなサイズの静止画を何枚も撮影したり、長時間の動画を撮影したいときは、市販のメモリーカードをお使いください。
- メモリーカードがなくても、カメラに内蔵のメモリーを使って撮影できます。次の「静止画を撮影する」（12ページ）に進んでください。
- メモリーカードは当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト（http://dc.casio.jp/）をご覧いただくか、本書巻末記載の「カシオお客様相談室」にお問い合わせください。
- メモリーカードに保存できる枚数については174ページをご覧ください。

（詳しくは→28ページ）

**1.** 電池カバーを開ける

軽く押しながら矢印の方向にスライドしてカバーを開ける

**2.** メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面を上（液晶モニター側）にして、カチッと音がするまでしっかり押し込む

**3.** 電池カバーを閉める

## ■ メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードを最初にカメラに入れたときは、カメラで使えるようにするために、「フォーマット」という作業をします。

**重要**

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは普段行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードは、必ずカメラを使って以下の手順でフォーマットしてください。

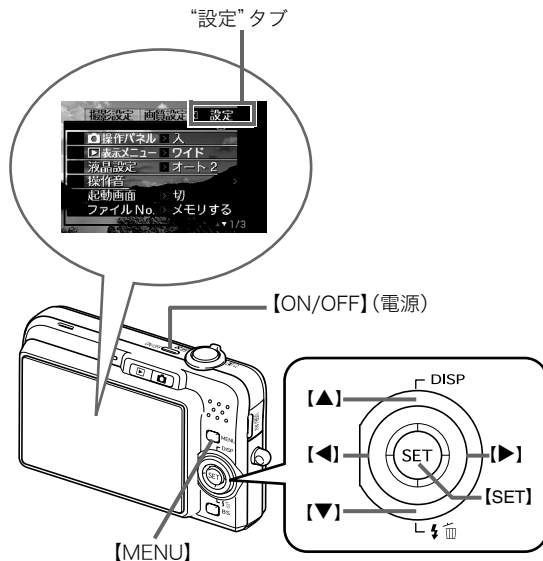
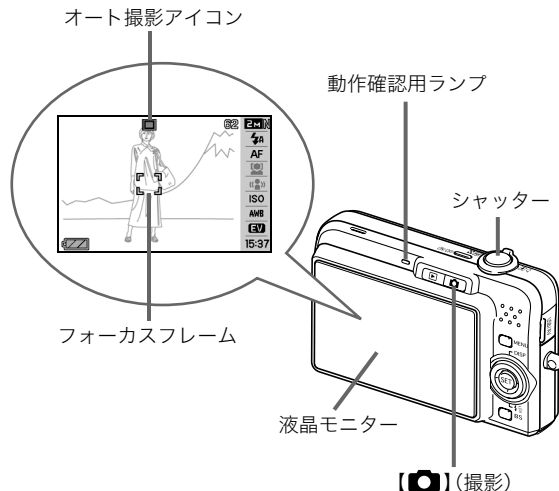
***1.*** 【ON/OFF】を押して電源を入れる

***2.*** 【MENU】を押す

***3.*** 【◀】【▶】を押して“設定”タブを選ぶ

***4.*** 【▼】を何回か押して“フォーマット”を選び、【▶】を押す

***5.*** 【▲】を押して“フォーマット”を選び、【SET】を押す

- フォーマットをやめるときは、“キャンセル”を選んで【SET】を押します。
- “処理中です　しばらくお待ちください”の表示が消えるまでお待ちください。

## 静止画を撮影する

***1.*** **【📷】(撮影)を押して電源を入れる**

撮影モードになり、液晶モニターに“□”(オート撮影アイコン)が表示されます。

(詳しくは→38ページ)

***2.*** **ピントを合わせる**

①カメラを被写体に向けます。

②カメラが動かないように気をつけながらシャッターを半押しします。
ピントが合うと“ピピッ”と音がして、動作確認用ランプとフォーカスフレームが緑になります。

***3.*** **カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む**

撮影した静止画は約1秒表示されたあとメモリーに保存され、次の撮影ができる状態になります。

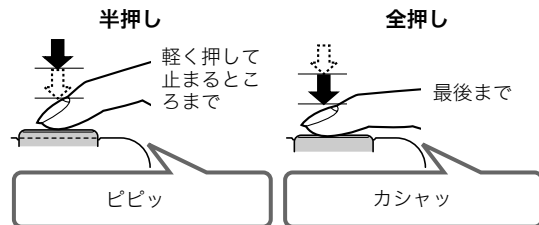
### 静止画の画像サイズと画質について

このカメラでは、いろいろな画像サイズや画質を選んで撮影できます。選んだ画像サイズや画質によって、撮影できる静止画の枚数は異なります。

- プリンターで印刷する、メールに添付する、またはホームページに載せるなど、特定の目的のために撮影するときは、必要に応じて画像サイズや画質、プリントサイズを変更してください。

詳しくは→41、42、174ページ

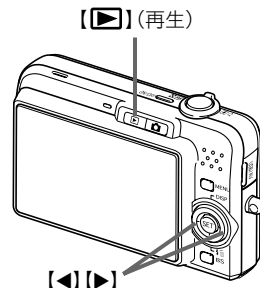
## シャッターの半押しって？

シャッターを軽く押すと、いったん止まるポイントがあります。そのポイントで、それ以上シャッターを押さないでいる状態を「半押し」といいます。カメラは、シャッターを半押しすると、カメラを向けている被写体に対して自動的に露出やピントを合わせます。
どのくらいの力で押し込むと半押しになるかを覚えるのが、きれいな静止画を撮影するコツです。

### ■ シャッターを半押しせずに一気に押し込んだときは

クイックシャッター(79ページ)が働き、シャッターチャンスを逃さず撮影できます。

- クイックシャッターが働くと、通常のオートフォーカスよりはるかに高速でピントを合わせるので、動きの速い被写体を撮影するときに便利です。ただし、正確にピントが合わない場合があります。
- 多少時間がかかっても正確にピントを合わせたい場合は、シャッターを半押ししてピントを合わせたあと撮影してください。

## 撮影した静止画を見る

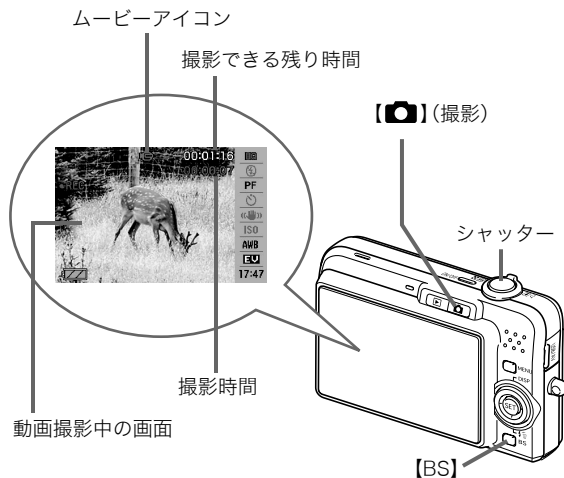
(詳しくは→92ページ)

**1.** **【▶】(再生)を押す**

再生モードになります。
何枚か撮影してあるときは、【◀】【▶】を押して、前後の画像を見ることができます。

### ■ 撮影モードに戻るには

【📷】(撮影)を押します。

## 動画を撮影する

ムービーアイコン
撮影できる残り時間
【📷】(撮影)
シャッター
撮影時間
動画撮影中の画面
【BS】

**1.** 【📷】(撮影)を押す

撮影モードになります。

**2.** 【BS】(BEST SHOT)を押す

(詳しくは→59ページ)

**3.** 【▲】【▼】【◀】【▶】で"🎥 ムービー"のシーンを選び、【SET】を押す

液晶モニターに"🎥"(ムービーアイコン)が表示されます。

**4.** シャッターを押して動画の撮影を開始する

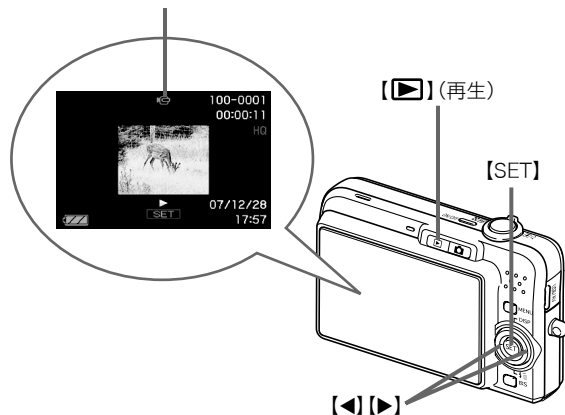
- 音声も記録されます。

**5.** もう一度シャッターを押して撮影を終了する

### 動画の画質について

このカメラでは、動画の画質を6種類の中から選べます(UHQ、UHQワイド、HQ、HQワイド、Normal、LP)。カメラの性能を最大に活かしてきれいな動画を撮るには、"HQ"や"HQワイド"以上の画質に設定してお使いください。
画質は、再生したときの画像のきめ細かさや滑らかさ、美しさを示す目安です。画質を落としても長時間の撮影をしたい、メモリーの残り容量が少ない、といったときに"Normal"や"LP"に切り替えてください。

詳しくは→59、174ページ

## 撮影した動画を見る

(詳しくは→93ページ)

**1.** 【▶】(再生)を押す

再生モードになります。

**2.** 【◀】【▶】を押して、再生したい動画を選ぶ

動画の場合、動画の最初の画面が表示されます。

**3.** 【SET】を押して再生を始める

最後まで再生されると、手順2の状態に戻ります。

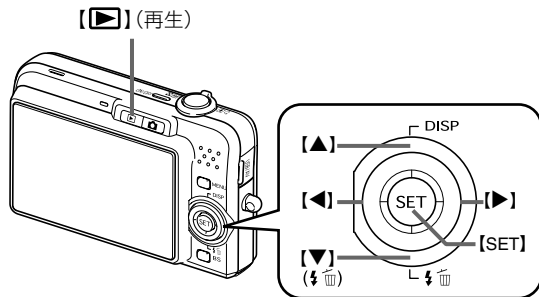
- 動画再生中に、音量を調整する、コマ送りする、などいろいろな操作ができます。→94ページ

### ■ 撮影モードに戻るには

【📷】(撮影)を押します。

## 撮影した画像を消去する

撮影した画像は次々にメモリーに保存され、メモリーの残りの容量が少なくなっていきます。必要な画像は、パソコンに取り込んだりプリンターで印刷したあとメモリーから消し、次の撮影のためにメモリーの残り容量を増やしてください。

(詳しくは→121ページ)

***1.*** 【▶】(再生)を押す

***2.*** 【▼】(⚡🗑)を押す

***3.*** 【◀】【▶】を押して、消去したい静止画、動画を選ぶ

***4.*** 【▲】を押して"消去"を選ぶ

- 消去を中止するときは"キャンセル"を選びます。

***5.*** 【SET】を押す

選んだ静止画、動画が消去されます。

- さらに消去を続けるには、手順3から繰り返します。
- 消去の作業を終えるときは、【MENU】を押します。

# はじめに

## 特長

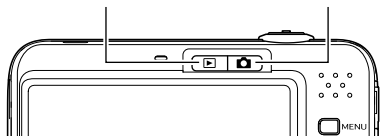
### ■ カメラ内蔵のサンプル画像を選ぶだけで、きれいに撮れるベストショット機能

「夜景と人物を写します」「花を写します」など、撮りたいシーンを選ぶだけで、最適な設定で撮影されます。独立した【BS】ボタンで操作性が格段に向上しています。

例：人物をきれいに撮りたいとき

### ■ 希望のモードで電源オン

見たいときは【▶】で再生モードに

撮りたいときは【📷】で撮影モードに

### ■ 撮影に便利な機能いろいろ

- 人物の顔をきれいに撮影できる顔認識撮影（54ページ）
- シャッター速度の高速化により、手ブレ・被写体ブレを軽減（66ページ）
- フラッシュを使わなくても暗くなることを防ぐ高感度撮影（67ページ）
- シャッターチャンスを逃さず撮影可能なクイックシャッター機能（79ページ）
- 高画質（H.264）の動画撮影が可能（59ページ）

### ■ プリント機能も充実

- 日付印刷や印刷枚数の指定が簡単にできるDPOF機能（133ページ）
- 画像データ上に日付が焼き込めるタイムスタンプ機能（86ページ）
- PictBridge、USB DIRECT-PRINTに対応。この規格のプリンターがあればパソコンがなくても自宅でプリント可能（131ページ）

## あらかじめご承知ください

### ■ 液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

### ■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。
万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- SDHCロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Windows Media、Windows Vista、およびDirectXは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、QuickTimeロゴ、およびiPhotoは、Apple Inc.の商標です。
- MultiMediaCardは、独Infineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
- MMC*plus*はMultiMediaCard Associationの商標です。
- HOTALBUMおよびHOT ALBUMロゴは、コニカミノルタフォトイメージング（株）の登録商標または商標であり、ホットアルバムコム（株）にライセンスされています。
- YouTube、YouTubeロゴおよび“Broadcast Yourself”は、YouTube, LLC社の商標または登録商標です。
- EXILIM、Photo Loader、Photo Transport、およびYouTube Uploader for CASIOは、カシオ計算機（株）の登録商標または商標です。

- Photo Loader with HOT ALBUMは、HOT ALBUMとPhoto Loaderをベースに開発された、カシオ計算機(株)およびホットアルバムコム(株)の著作物であり、著作権およびその他の権利は、これらに帰属します。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に付属するソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

当製品には、イーソル株式会社のリアルタイムOS、PrKERNELv4が搭載されています。

PrKERNELv4®

本製品のYouTubeアップロード機能は、YouTube, LLC社からのライセンスの元に搭載されています。ただし、本製品がYouTubeアップロード機能を備えることが、YouTube, LLC社が本製品を保証または推薦することを意味するわけではありません。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 万一、Photo Loader with HOT ALBUM、Photo Transport、YouTube Uploader for CASIO使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 使用上のご注意

### ■ 撮影前はためし撮りを

- 必ず事前にためし撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

### ■ データエラーのご注意

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。
  - カメラの動作中に電池やメモリーカードを抜いた
  - 電源を切ったときに動作確認用ランプが緑色に点滅している状態で電池やメモリーカードを抜いた
  - 通信中にUSBケーブルがはずれた
  - 消耗した電池を使用し続けた
  - その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります（171ページ）。メッセージに対応した処置をしてください。

### ■ 使用環境について

- 使用できる温度の範囲は、0℃～40℃です。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリの多い場所
  - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
  - 日中の車内、振動の多い場所

### ■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房してある室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障の原因になりますので、ご注意ください。結露を防ぐには、温度差の大きな場所の間を移動する前に、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に充分慣らしてから取り出して、電池カバーを開けたまま数時間放置してください。

### ■ 電源について

- 必ず当社の専用リチウムイオン充電池（NP-40）をお使いください。他の電池は使用できません。
- 本機には時計専用の電池は入っていません。電池で電源が供給されていないと、約2日で日時がリセットされますので、その場合は再度設定してください（125ページ）。

### ■ レンズについて

- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性（歪曲収差）により、撮影した画像の直線が歪む（曲がる）場合がありますが、故障ではありません。

## ■ カメラのお手入れについて

- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- フラッシュ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、フラッシュ面には触れないでください。フラッシュ面の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

## ■ 撮影画像の確認について

- 本機での通常の再生表示は縮小画像のため、撮影した画像の詳細を確認することができません。本機では画像を拡大して表示させる機能がありますので、大切な写真等を撮影されたときは、撮影された画像を拡大表示して、画像の確認をしていただくことをおすすめいたします（100ページ）。

## ■ 充電式電池の取り扱いについて

- リサイクルのお願い

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<最寄りのリサイクル協力店へ>
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.com/

- 使用済み充電式電池の取り扱い注意事項
  - プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
  - 被覆をはがさないでください。
  - 分解しないでください。

## ■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄／譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「削除」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能（129ページ）で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

## ■ その他の注意

- 使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。

# 撮影前の準備をする

## 充電式電池を充電する

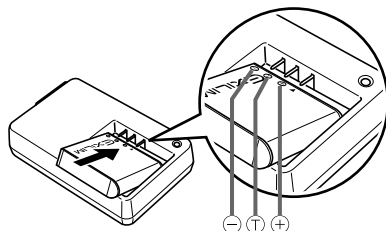
本機は、当社の専用リチウムイオン充電池（NP-40）を電源として使用します。

**重要**

- NP-40以外の電池は使用できません。

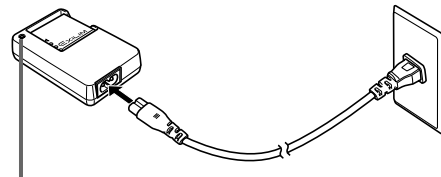
**お買い上げ直後は、電池はフル充電されていません。「電池を充電する」にしたがって充電してください。**

### 電池を充電する

***1.*** 電池と充電器の極性を合わせ、電池を充電器にセットする

- 電池と充電器の極性を合わせて入れてください。向きが違っていると充電できません。

***2.*** 充電器を家庭用コンセントに接続する

【CHARGE】ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。

- 約2時間30分でフル充電されます。充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。

#### 充電が完了すると

【CHARGE】ランプが消灯します。電源コードをコンセントから抜き、そのあと充電器から電池を取りはずしてください。

#### 【CHARGE】ランプが赤色に点灯しないときは

周辺温度または充電器の温度が高温または低温状態で、充電できないことを示しています。そのまま常温で放置してください。充電可能な温度になると充電が始まり、【CHARGE】ランプが赤色に点灯します。

### 【CHARGE】ランプが赤色に点滅したときは

電池の不良、電池のセット不良を示しています。電池を充電器から取り出し、充電器との接点部の汚れを調べてください。汚れていたら、乾いた布で拭き、充電器に入れ直してください。電源コードがコンセント、充電器からはずれかけていないかも確認してください。

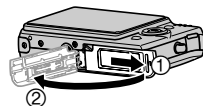
上記の処置をしてもエラーが起こる場合は、電池の不良が考えられます。カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

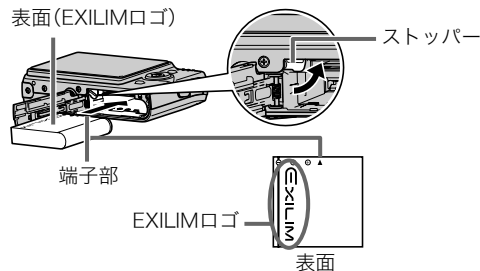
**重要**

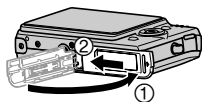
- 専用リチウムイオン充電池（NP-40）は専用充電器（BC-31L／BC-30L）を使って充電してください。他の充電器では充電できません。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 使用した直後の熱くなった電池をすぐに充電すると、充分に充電されない場合があります。いったん電池が冷えるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用せずに放置していた場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。そのような場合は、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。

## 電池を入れる

**1. 電池カバーを開ける**

電池カバーを押しながら矢印の方向にスライドさせます。

**2. 電池を入れる**

電池のEXILIMのロゴのある面を上（液晶モニター側）にして、電池の側面でストッパーを矢印の方向にずらしながら電池を入れます。ストッパーが電池にかかるまでしっかり押し込んでください。

## ***3.*** 電池カバーを閉める

電池カバーを閉じ、本体に押しつけながら、スライドして閉めます。

## ■ 電池寿命と撮影可能枚数について

詳しくは176ページをご覧ください。

## ■ 電池を長持ちさせるために

- フラッシュを使用しなくてよいときは、フラッシュの発光方法を“ ”(発光禁止)にしてください。電池寿命が長くなります(46ページ)。
- オートパワーオフ機能やスリープ機能を使用することにより、電源の切り忘れなどのむだな消費電力をおさえることができます(27ページ)。

## ■ 電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

| 電池の残量 | 多い ←――――――――――→ 少ない | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電池残量表示 | | → | | → | | → | |
| 残量表示の色 | 水色 | → | オレンジ色 | → | 赤色 | → | 赤色 |

“ ”は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

“ ”の状態では撮影できません。すぐに充電してください。

### 重要

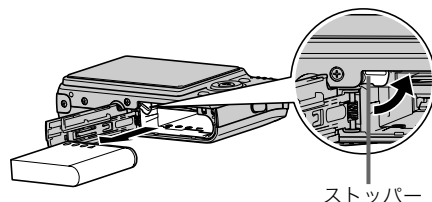
- 撮影モードと再生モードの切り替えをした場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が入っていない、または消耗している状態でカメラを約2日放置すると、日時の設定がリセットされ、再度日付の設定が必要になります。

## 電池を交換する

***1.*** 電池カバーを開く

***2.*** 電池を取り出す

①図のように液晶モニターを上に向けた状態で、ストッパーを矢印方向へずらす

②そのままの状態で、出てきた電池を引き抜く

***3.*** 新しい電池を入れる

## 電池に関するご注意

### ■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、充分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 5℃～35℃の温度範囲で充電してください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、充分な充電ができないことがあります。
- 充電直後でも電池の使用時間が大幅に短くなった場合は、電池の寿命と思われますので、新しいものをお買い求めください。

### ■ 保管上のご注意

- リチウムイオン充電池は小型で高容量の電池ですが、充電された状態で長期間保管すると特性が劣化することがあります。
  - しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
  - 使用しないときは必ず充電池をカメラから取りはずしてください。取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、電池が消耗し、充電に時間がかかったり、カメラがこわれたりします。
  - 乾燥した涼しい場所（20℃以下）で保管してください。

## 海外で使うときは

以下のことにご注意ください。

- 付属の充電器はAC100V～240V、50/60Hzの電源に対応していますが、使用する国によってプラグ形状等が各国、各地域で様々なため、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- 充電器の電源に、電圧変換器等はご使用にならないでください。故障の原因となります。

### ■ 予備の電池について

旅先で電池が切れて撮影ができなくなってしまうことを防ぐため、フルに充電した予備の電池（NP-40）をお持ちになることをおすすめします。

- 電池はお買い求めの販売店またはカシオ・オンラインショッピングサイト（e-カシオ）でご購入ください。
  e-カシオ：http://www.e-casio.co.jp/

## 電源を入れる／切る

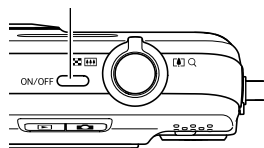
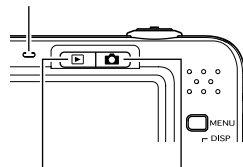
### ■ 電源を入れる

**電源を入れて撮影モードにするには**

【ON/OFF】（電源）または【📷】（撮影）を押します。

**電源を入れて再生モードにするには**

【▶】（再生）を押します。

ボタンを押すと、動作確認用ランプが緑色に一時点灯し、電源が入ります。

【ON/OFF】（電源）　　動作確認用ランプ

【▶】（再生）　【📷】（撮影）

重要

- 【ON/OFF】または【📷】(撮影)で電源を入れるとレンズが出てきます。その際にレンズを押さえたりぶつけたりしないようにしてください。レンズを手で押さえ込んでレンズの動きを妨げると、故障の原因になります。

参考

- 撮影モードのときに【▶】(再生)を押すと再生モードに切り替わり、約10秒後にレンズが収納されます。
- オートパワーオフ機能(27ページ)により、一定時間操作しないと、自動的に電源が切れます。この場合は、電源を入れ直してください。

## ■ 電源を切る

【ON/OFF】(電源)を押します。

参考

- 【📷】(撮影)や【▶】(再生)を押しても電源が入らないようにすることができます。また、【📷】(撮影)や【▶】(再生)でも電源が切れるようにすることもできます(128ページ)。

### お買い上げ後、最初に電源を入れたときは

画面に表示されるメッセージなどの言語および日時を設定する画面が表示されます。「メッセージの言語を選び、日付と時刻を合わせる」をご覧になって正しく設定してください(9ページ)。

重要

- 日時を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。
- 表示言語や日時を間違って設定した場合、設定し直すことができます(125、127ページ)。

## ■ 電池の消耗を抑える

本機は電池消耗を抑えるため、スリープ機能とオートパワーオフ機能を備えています。撮影モードでは下記のように設定することができます。

| 機能 | 動作 | 設定できる値 |
|---|---|---|
| スリープ | 一定時間操作しないと液晶モニターの表示を消します(スリープ状態)。何かボタンを押すと、表示が戻ります。 | 30秒<br>1分<br>2分<br>切 |
| オートパワーオフ | 一定時間操作しないと、電源が切れます。 | 1分<br>2分<br>5分 |

- 再生モードでスリープ機能、オートパワーオフ機能を設定しても、再生モードでは常に下記のようになります。
  – スリープ機能は働きません。
  – オートパワーオフ機能は5分に固定されます。

**1.** 【MENU】を押す

**2.** 【◀】【▶】で“設定”タブを選ぶ

**3.** 【▲】【▼】で設定したい項目（“スリープ”または“オートパワーオフ”）を選び、【▶】を押す

**4.** 【▲】【▼】でスリープ状態になるまで、またはオートパワーオフまでの時間を選び、【SET】を押す

スリープの設定で“切”を選ぶと、スリープ機能は働きません。

### 参考

- スリープ機能とオートパワーオフ機能の設定が同じ時間の場合、オートパワーオフ機能が優先されます。
- 以下の状態のときは、スリープ機能、オートパワーオフ機能は働きません。
  – 本機をパソコンなどの機器に接続しているとき
  – ボイスレコード録音・再生中
  – 動画撮影・再生中

## メモリーカードを使う

撮影した画像は、メモリーカードに保存することができます。市販のメモリーカードをご用意ください。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。テスト用や緊急用などにご利用ください。

### 参考

- 内蔵メモリーとメモリーカード間で画像をコピーすることもできます（119ページ）。
- 次の情報は、内蔵メモリーに記録されます。メモリーカードにコピーすることはできません。
  – 顔認識でファミリー登録した内容
  – ベストショットモードのカスタム登録情報
  – お気に入りフォルダの情報
  – 各種設定を記憶させているモードメモリの情報
  – 起動画面の画像

## 使用できるメモリーカード

本機では次のメモリーカードが使用できます。
SDメモリーカード
SDHCメモリーカード
MMC（マルチメディアカード）
MMC*plus*（マルチメディアカードプラス）

- メモリーカードは当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。動作確認を行ったメモリーカードについては、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト（http://dc.casio.jp/）をご覧いただくか、本書巻末記載の「カシオお客様相談室」にお問い合わせください。
- メモリーカードに保存できる枚数については174ページをご覧ください。

### 記録に使用されるメモリー

撮影した画像は、メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- メモリーカードを入れた状態で内蔵メモリーに記録することはできません。

### 重要

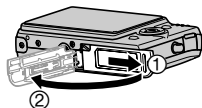
- メモリーカードを使う際はメモリーカードの取扱説明書もあわせてお読みください。
- カードの種類によって処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位（UHQ、UHQワイド、HQ、HQワイド）の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、コマ落ちする場合があります。このとき、“ ”と“●REC”が点滅します。メモリーカードは、最大転送速度が10MB/s以上のメモリーカードの使用をおすすめします。
- SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。ただし、撮影・フォーマット・消去時は解除しないと各操作が実行できません。
- 静電気、電気的ノイズ等により記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア（CD-R、CD-RW、MOディスク、ハードディスクなど）にバックアップして控えをとることをおすすめします。

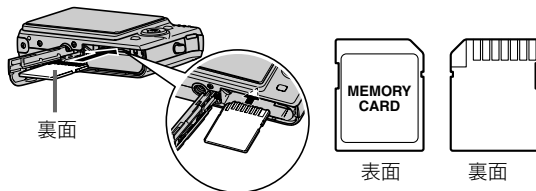
## メモリーカードを入れる

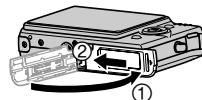
**重要**

- メモリーカードの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。
- カードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。

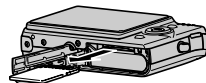
### *1.* 電池カバーを開ける

電池カバーを押しながら矢印の方向にスライドさせます。

### *2.* メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面を上(液晶モニター側)にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。

### *3.* 電池カバーを閉める

電池カバーを閉じ、本体に押しつけながら、スライドして閉めます。

## メモリーカードを交換する

### *1.* メモリーカードを取り出す

メモリーカードを押すと、カードが少し出てきます。手で引き抜いてください。

### *2.* 別のメモリーカードを入れる

**重要**

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(29ページ)以外のものは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切り、電池を抜いて、カシオテクノ修理相談窓口(186ページ)またはお買い上げの販売店にご連絡ください。
- 動作確認用ランプが緑色に点滅している間にメモリーカードを取り出さないでください。撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

## メモリーカードをフォーマットする

新しいメモリーカードを初めて使用するときは、フォーマット(初期化)する必要があります(一度フォーマットすれば、使うごとにフォーマットする必要はありません)。
すでに画像が記録されているメモリーカードをフォーマットすると、メモリーカードの内容がすべて消去されます。

**重要**

- メモリーカードをフォーマットすると、消去されたデータを元に戻すことはできません。フォーマットする前に、本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてください。
- ファイルデータにメモリープロテクト(117ページ)をかけていても、メモリーカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されます。
- メモリーカードは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットすると処理速度が著しく遅くなります。またSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの場合、SD規格非準拠となり、互換性・性能等で問題が生じる場合があります。

1. **フォーマットしたいメモリーカードをカメラに入れる**
2. **電源を入れ、【MENU】を押す**
3. **“設定”タブ→“フォーマット”と選び、【▶】を押す**
4. **【▲】【▼】で“フォーマット”を選び、【SET】を押す**

   フォーマットが始まります。
   フォーマットが終了したら、再生モードに切り替え、「ファイルがありません」と表示されることを確認してください。
   - フォーマットを実行しないときは、“キャンセル”を選んでください。

## ■ メモリーカードのご注意

- 万一メモリーカードの異常が発生した場合は、メモリーカードのフォーマット操作で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- 撮影した画像を再生したとき、異常が発生した場合は、一度フォーマットしてお使いいただくことをおすすめいたします。
- メモリーカードは撮影／消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- フォーマット操作は、フル充電状態の電池を使用してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、メモリーカードが正常に動作しなくなる恐れがあります。
- フォーマット中に電池カバーを開けることは、絶対におやめください。メモリーカードが正常に動作しなくなる恐れがあります。

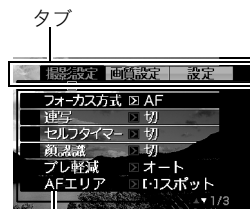
# メニュー操作を覚える

本機では、メニューを操作していろいろな設定を行います。まず、この操作を覚えてください。

- メニューの内容については、「メニュー一覧表」(161ページ)をご覧ください。
- メニュー画面で設定できる機能の一部は、操作パネル(34ページ)からも設定できます。両方で設定できる機能について、本書では操作パネルからの操作方法を記載しています。

### メニュー画面の例

【MENU】を押すと、メニュー画面が表示されます。

- メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。この画面は、撮影モードでのメニューです。

### メニュー画面で使うボタン

| ボタン | 説明 |
|---|---|
| 【◀】【▶】 | タブを選びます。【▶】は、項目の決定にも使います。 |
| 【▲】【▼】 | 設定項目を選びます。 |
| 【SET】 | 選択した設定内容に決定します。 |
| 【MENU】 | メニュー操作を中断して、メニューを消します。 |

以下に、撮影モードでのメニューの操作のしかたを示します。

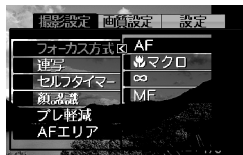
**1.** 撮影モードにして【MENU】を押す

メニュー画面が表示されます。

**2.** 【◀】【▶】で設定したい項目のあるタブを選ぶ

ここでは、"撮影設定"タブを選んでください。

**3.** 【▲】【▼】で設定したい項目を選び、【▶】を押す

例："フォーカス方式"を選んで【▶】を押したとき

**4.** 【▲】【▼】で設定したい内容を選ぶ

**5.** 決定する

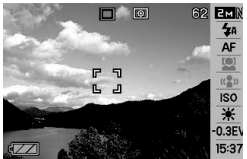
- 【SET】を押すと、選んだ内容に決定され、メニュー画面が消えます。
- 【SET】の代わりに【◀】を押すと、選んだ内容に決定され、メニュー画面に戻ります。さらに続けて次の設定ができます。
- 他のタブを選ぶときは、【◀】を押したあと【▲】でタブに戻り、【◀】【▶】で他のタブに切り替えます。

## 液晶モニターの表示内容を切り替える

表示メニューという画面で、液晶モニターの表示内容をお好みに合わせて設定することができます。

### 画面のレイアウトを選ぶ

撮影モード、再生モードではそれぞれ設定内容が異なります。

#### ■ 撮影モードでのレイアウト

撮影モードでは、画面に表示されるアイコン等のレイアウトが選べます。

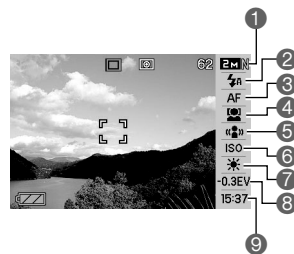
**1.** 撮影モードにして【MENU】を押す

**2.** 【◀】【▶】で"設定"タブを選ぶ

**3.** 【▲】【▼】で" 操作パネル"を選び、【▶】を押す

**4.** 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

| 操作パネル | 説明 |
|---|---|
| 入 | 画面の右側にアイコンが集中的に表示されます。画像の上に表示されるアイコンが少ないため撮影のさまたげになりません。<br>さらに、撮影モード中に【SET】を押せば、各種項目の設定が素早くできます。 |
| 切 | 画像をできるだけ画面いっぱいに表示しますので、“16:9”の画像(41ページ)を大きく表示して撮影したいときなどに便利です。<br>アイコンは画面に重なって表示されます。 |

本書では、操作パネルが“入”の状態で説明しています。

**操作パネル**

❶画像サイズ／画質※1(41、42ページ)
❷フラッシュ(46ページ)
❸フォーカス方式(75ページ)
❹顔認識(54ページ)
❺ブレ軽減(66ページ)
❻ISO感度(83ページ)
❼ホワイトバランス(82ページ)
❽EVシフト(81ページ)
❾日付／時刻の表示※2、※3(125ページ)

※1 操作パネル上では画質の切り替えはできません。
※2 日付または時刻の表示が選べます。
※3 日付の表示は“表示スタイル”の設定により、「月／日の順」と「日／月の順」の2つから選ぶことができます(125ページ)。時刻の表示は“日時設定”の設定にかかわらず、24時間制で表示されます(125ページ)。

以下に、操作パネルの操作のしかたを示します。

**1.** 撮影モードにして【SET】を押す

操作パネルのアイコン部分の設定が可能になります。

**2.** 【▲】【▼】で設定したい項目を選ぶ

**3.** 【◀】【▶】で設定したい内容を選ぶ

**4.** 決定する

- 【SET】を押すと、選んだ内容に決定され、元の撮影モードの画面に戻ります。
- 続けて他の項目を選ぶときは、【SET】を押さずに【▲】【▼】で他の項目に切り替えます。

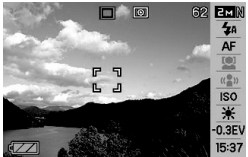
**重要**

- ボイスレコード使用時は、操作パネルは表示されません。

## ■ 再生モードでのレイアウト

再生モードでは、再生画像の表示範囲が選べます。

**1.** 再生モードにして【MENU】を押す

**2.** 【◀】【▶】で"設定"タブを選ぶ

**3.** 【▲】【▼】で"▶ 表示"を選び、【▶】を押す

**4.** 【▲】【▼】で設定内容を選び、【SET】を押す

| 表示の種類 | 説明 |
|---|---|
| ワイド | 画像を画面の幅いっぱいを使って、できるだけ大きく表示します。画像の縦横の比率によって、画像の上下が切れて表示されます。 |
| 4:3 | 画像が常に100%表示されます。画像の縦横の比率によって、画像の上下、または左右に黒い帯が表示されます。 |

## 表示される内容を選ぶ

【▲】(DISP)を押すごとに、画面に表示される情報表示の有無が選べます。撮影モード、再生モードでそれぞれ設定できます。

| 情報の種類 | 説明 |
|---|---|
| 情報表示あり | カメラの設定内容等の情報が表示されます。 |
| ヒストグラム付 | カメラの設定内容等の情報に加え、ヒストグラム(87ページ)が表示されます。 |
| 切 | カメラの設定内容等の情報を表示しません。 |

### 重要

- 音声付き静止画の音声待機中／記録中は、画面に表示される情報表示の有無を選ぶことはできません。
- ボイスレコードでは次のように切り替わります。
  – 撮影モード時:「情報表示あり」と「画面の消灯」の選択
  – 再生モード時:「情報表示あり」と「切」の選択

## 正しい操作のしかたがわからなくなったら

撮影中、再生中に、意図しないボタン操作で思わぬ画面に切り替わったときは、以下のように操作してください。

### 撮影モード中

| 切り替わってしまった画面 | 元に戻すには |
|---|---|
| メニュー画面 | 【MENU】または【 】を押します。 |
| ベストショット画面 | 【BS】または【 】を押します。 |
| 「ファイルがありません」という表示 | 【 】を押します。 |
| 再生モードの画面 | 【 】を押します。 |

### 再生モード中

| 切り替わってしまった画面 | 元に戻すには |
|---|---|
| メニュー画面 | 【MENU】または【▶】を押します。 |
| 撮影モードの画面 | 【▶】を押します。 |
| 「消去」の画面 | 【▶】を押します。または、“キャンセル”が選ばれていることを確認して【SET】を押します。 |